

【出生】 令和2年度
 年間出生数：1219人
 養育医療申請児数：33人
 低出生体重児数：

【医療機関】
 *「発達障がい児」の診療等を行っている医療機関リスト(沖縄県発達障害者支援センター)

【乳幼児健康診査】 令和2年度

R2	年間実施回数	精神発達障害有所見率	保健相談要経過観察率	スクリーニング
乳児	22	0.2%	0.6%	問診スクリーニング(小児保健協会作成の間診票)/保健師判断/医師判断
1歳児	28	2.9%	12.2%	保護者の訴え/会場での観察/課題の実施
3歳児	26	3.8%	7.8%	

【未受診者対策】
 電話・はがきでの再通知/母子保健推進員等による訪問勧奨

【市町村独自の取り組み】

【子育て支援サービス】
 ◆子育て支援センター：
 一般型 8ヶ所
 携帯型 1ヶ所

気になる子のフォローの場としての利用：あり
 <その他子育て支援サービス>
 ファミリーサポートセンター

【個別発達相談】 令和2年度
 年間回数：53件/年 延べ 53件/年
 担当職種：臨床心理士

【親の会等】
 *「発達障がい者に関する親の会・当事者団体等リスト」(沖縄県発達障害者支援センター)参照

【療育グループ】

グループ名	
対象児(年齢)	
開催日時	
定員	
実施場所	
スタッフ体制	

【健診事後フォロー教室】

グループ名	のびっこ親子教室
対象児(年齢)	1歳6か月～3歳未満
開催日時	月1回
定員	5組
実施場所	宜野湾市保健相談センター
スタッフ体制	臨床心理士1名、言語聴覚士1名、保育士2名、保健師4名、母子保健推進員1名

【移行支援】

【移行支援】

【相談支援事業所】 指定障害児相談支援事業所 14ヶ所

【療育】

児童福祉法による障害児通所支援			それ以外の通所支援		
児童発達支援	医療型児童発達支援	保育所等訪問支援	親子通園	単独通園	その他
1ヶ所	18ヶ所	0ヶ所	4ヶ所	0ヶ所	0ヶ所

【自治体の実施する取り組みや研修】
 ペアレントトレーニングの実施
 研修：10月～2月までの期間で8回実施
 内容：親子のより良い関係づくりを目指し、子どもへの適した関わり方や子育て力を身に着けるプログラム。

【気になる子がいた場合に紹介できる支援機関】
 あり
 主な機関名：児童発達支援事業所

【幼児教育・保育施設での独自の取り組み】
 特になし

【療育機関と保育所・園の併行利用】
 ①公立 人 ②認可 人
 ③小規模認可園 人 ④認定こども園 人
 ⑤認可外 人 ⑥幼稚園 人

【移行支援】
 全日程が2月で終了する為、意向にあたっての取り組みについてはこれより検討・実施予定となる。

【保育所】 ※ () 内は療育機関を併用している児の数

公立	認可	小規模認可	認可外	認定こども園	自治体独自の指定園
2ヶ所	22ヶ所	14ヶ所	23ヶ所	8ヶ所	ヶ所

【障害児保育】
 実施園数：32ヶ所
 実施人数：139人
 <必要な手続き>
 医師の診断書：求める場合がある(医療ケアが必要な児童の場合)
 診断書以外：心理士の意見書・心理学判定書等/特別児童扶養手当/障害者手帳(療育・精神)/その他(経過記録(保育園などで、これまでの生活の様子がわかるもの※所定の様式あり))
 【通常保育の中の気になる子を把握する仕組み】
 保育園や保護者からの相談があり巡回相談を行っている。または、特別支援保育を実施している児童は定期巡回相談があるので、その時に把握している。
 【気になる子がいた場合に紹介できる支援・機関】
 児童発達支援事業所

【施設支援・巡回支援】
 市町村で独自に予算を立てている(特別支援保育事業)
 <対象施設>
 公立保育所/認可保育園/小規模認可園/認可外保育施設/認定こども園
 <必要な手続き>
 施設からの希望/施設職員からの希望/保護者からの希望/定期巡回
 <対応職種>
 ①臨床心理士・公認心理師資格保有者4名、公認心理師資格保有者1名
 ②市職員(臨床心理士・公認心理師)2名

【自治体の実施する取り組みや研修】
 2か月に1回の定期巡回相談(行動観察・面談)をとおして保護者と保育士が児童の特性について理解を深め支援を行えるような体制作りを行っている。
 研修名：特別支援保育担当者会議、対象：特別支援保育を実施している保育士、内容：発達特性に応じた関わりと保護者支援についての講和(R2年度)
 【認可外保育園の気になる子を把握する仕組み】
 把握していません
 <認可外保育施設の発達障害に関する研修>

【障害児保育から幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】
 ・保幼小連携会議(教育委員会主催：保育園長・主任、幼稚園副園長、小1の主任、特別支援コーディネーター)で情報共有。
 ・特別支援教育コーディネーター、幼稚園長の会議(教育委員会主催)で情報共有。
 ・例年3月頃に、校区内の保育所が各校へ申し送りを行っている(調整は各校から保育所へ案内があるが、学校によって開催しないところもある。)
 ・その他支援世帯(児童家庭課など)は、個別で学校へ申し送りあり。

【保育園での気になる子を幼稚園や小学校へ繋げる取り組み】
 ・保幼小連携会議(教育委員会主催：保育園長・主任、幼稚園副園長、小1の主任、特別支援コーディネーター)で情報共有。
 ・特別支援教育コーディネーター、幼稚園長の会議(教育委員会主催)で情報共有。
 ・例年3月頃に、校区内の保育所が各校へ申し送りを行っている(調整は各校から保育所へ案内があるが、学校によって開催しないところもある。)
 ・その他支援世帯(児童家庭課など)は、個別で学校へ申し送りあり。

【就園・就学】

【放課後児童クラブ】 令和2年度
 補助金交付対象児童数：45ヶ所
 障害児受入学童数：38ヶ所
 「障害児受入推進事業」実施学童数：38ヶ所
 「障害児受入強化推進事業」実施学童数：19ヶ所

保健師の意見書による個別支援(訪問、電話相談等)

【障害者相談支援事業】
委託相談事業所 (3ヶ所)
ケアステーションポイント
ピアセンター・イルカ
はびわん

【障害者相談支援事業】

【巡回支援専門員整備事業】
実施の予定はない

【発達障害児者及び家族等支援事業】
実施の予定はない

【児童支援・保護者支援・教師支援に向けた取り組み】

・ソーシャルスキルトレーニング (SST) :
必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (福祉、教育)

・ペアレント・トレーニング:
現在すでに実施している (保健保育)
現在すでに実施している (委託先名: 特定非営利活動法人へあ・さぽーと) (福祉)

・ペアレントプログラム:
現在すでに実施している (保健保育)
現在すでに実施している (委託先名: 特定非営利活動法人へあ・さぽーと) (福祉)
必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (教育)

・ティーチヤーズ・トレーニング:
現在すでに実施している (保健保育)
現在すでに実施している (委託先名: 特定非営利活動法人へあ・さぽーと) (福祉)
必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (教育)

・ペアレントメンター:
必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある (福祉、教育)

・ピアサポーター (福祉のみ) :
必要性を感じているが、運営面 (予算、人材等) に課題がある

【各機関の相互連携】
発達支援に関する行政内での連携会議等

Table with 2 columns: 名称, 頻度. Includes rows for 参加部署等 and 検討内容.

【発達障害に関する窓口の周知方法】
市町村のホームページに掲載

【発達障害の相談対応】
利用できるサービス一覧表等の作成を行っている。

【災害時支援に関する今後の取り組みや課題】

【新型コロナウイルス感染症対策に関する発達障害児の支援】

【高齢期の発達障害児支援に関する取り組みや課題】

【独自事業や取り組み】

【発達障害児者支援への取り組み状況や課題】

【幼稚園入園時に発達障害の子どもの把握する取り組み】
<状況> ほぼ把握している
<把握方法> スクリーニング検査実施/幼児教育・保育施設からの引継ぎ(制度化している)/保護者からの事前相談(制度化している)/関係課からの情報提供/就学相談会

Table for 幼稚園. Columns: 特別な支援を要する幼児, 加配支援員について, 加配支援員向け研修会について. Includes data for 令和2年度.

【幼稚園で気になる子の引き継ぎについて】
その他(個別的教育支援計画を引き継ぐよう助言している)

【小学校入学時に発達障害の子どもの把握する取り組み】
<状況> ほぼ把握している
<把握方法> スクリーニング検査実施/幼児教育・保育施設からの引継ぎ(制度化している)/保護者からの事前相談(制度化している)/関係課からの情報提供(制度化している)/就学相談会

Table for 小学校. Columns: 特別支援学級, 通級指導教室学級総数, 加配支援員等について, 加配支援員等向け研修会について. Includes data for 令和2年度.

【小学校で気になる子の引き継ぎについて】
個別的教育支援計画を引き継ぐよう助言している/現場教員に一任している
(個別の支援計画の引継ぎ・保護者からの要望等があれば中学校との情報交換の場を設定)

【中学校入学時に発達障害の子どもの把握する取り組み】
<状況> ほぼ把握している
<把握方法> 小学校からの引継ぎ(制度化している)/保護者からの事前相談(制度化している)/関係者からの情報提供(制度化している)

Table for 中学校. Columns: 特別支援学級, 通級指導教室学級総数, 加配支援員等について, 加配支援員等向け研修会について. Includes data for 令和2年度.

【中学校卒業後の引き継ぎについて】
●高等学校: 個別的教育支援計画を引き継ぐよう助言している
●高校以外の進路先(就労支援も含む): その他

高等学校・特別支援学校・就労等

【成人の発達障害者に対する支援】
【発達障害者の可能性が疑われる(未診断)の方への対応】
受診勧奨
【就労機関に繋ぐ際の工夫点や課題】
沖縄障害者職業センター等へつなぎ、必要に応じて検査等してもらおう。対人面のトラブルに課題がある方が多いため、ジョブコーチ等つながらようアプローチしている。

【自治体で行っている特別支援教育に関する研修会について】
研修名/対象/年間回数/形態
特別支援コーディネーター研修会/特別支援コーディネーター/2/定例

特別支援担当者研修会/特別支援担当教諭/2/定例
宜野湾市教職員悉皆研修/市教職員/1/定例
特別支援教育支援員研修会/特別支援教育支援員/2/定例

【市町村独自で巡回支援】
行っている
利用する事業や制度: その他

対応している職種(人数): 心理士(4名)、指導課指導主事(4名)
支援対象となる校種: 幼稚園/小学校/中学校

支援の対象者と内容: 落ち着いた児童生徒への対応や関係機関と調整について

必要な手続き: 学校からの希望/教職員からの希望

【教育研究所や青少年センター等市町村独自の機関との連携について】
心理検査の共有、対象児童生徒の情報共有

【公立学校以外の通学児童の把握及び支援】
行っていない(各学校で連携しているため)

【特別支援教育を進めるにあたり市町村独自で取り組んでいること】

【特別支援教育に関する説明会の対象者と時期、目的、内容】
保育所、幼稚園の担当者に対象に教育支援の手続きや判定について説明している。

【発達障害に関する高校受験の配慮事例】
・ルビふり
・別室受験